

☆年明け、打ち合わせ資料として職員に出したものです。保護者の皆様にも紹介します。令和7年、前向きにがんばる1年にしませんか。

2025年 前向きに明るく！変革・挑戦の年に！

- *巳年は蛇が脱皮を繰り返して再生するイメージから、「成長や変革の年」「新しい挑戦や変化に前向きな年」とされています。2025年は、「前向き・変革・挑戦」を意識し頑張ってくださいませんか！
- *下に、ある小学校の校長先生の講話を載せました。自分も、ぜひ実行したいと思いました。子どもたちにも語りたなお話ですね。



プラスの言葉で前向きに！

「言霊(ことだま)」という言葉聞いたことはありますか。日本では、大昔から「言葉には魂が宿っていて、口に出した言葉通りの結果をもたらす力がある」と言い伝えられてきました。「ことだま」は、「言葉に宿るエネルギー」とも言えます。

自分の言葉を一番近くで聞いているのは誰ですか。それは自分です。ですから、プラスの言葉は言われた相手だけでなく、その言葉を発した自分にもプラスのエネルギーをもたらします。誰かに「ありがとう」と言えば、人から「ありがとう」と言われた時と同じ効果を自分の体が受け止めるのです。残念なことに、マイナスのエネルギーをもつ言葉をたくさん使う人がいます。「面倒くさい」とつぶやいた言葉は、自分の耳に最初に入り、ますますやる気を失わせます。「嫌だ」「どうせ」「できない」など、本当はできる力があるのに、言霊の力で「できない」方向に進んでしまうことがあるかもしれません。



人はだれでもプラスの言葉もマイナスの言葉も吐くものです。マイナスの言葉を言わないように気をつけると、「吐(はく)」の字の横棒(マイナス)が消えて「叶(かなう)」という字になります。面白いですね。どうせなら、願いが叶う人生の方がいいと思いませんか。

さあ、ここでマイナスの言葉をプラスの言葉に言い換える練習です。答えはいろいろあると思います。自分なりの言葉を見つけてください。「疲れた」という言葉、口癖になっていませんか。それは「よく頑張った」結果です。「忙しい」と投げ出したくなる時もあります。それは「人気芸能人並みのスケジュール！」と言えます。「これしか進まなかった」と落ち込むときは、進んだ方に目を向ければ、「半分も進んだ！」ということができます。

言葉が変われば、人生も変わります。楽しく笑える、前向きな言葉を使っていきましょう。